

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
内部障害系理学療法評価学演習			必修	1	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
元山 美緒 他		D320	mio.motoyama		水曜日 10:40～12:10	
授業の目的・概要		講義を通して内部障害理学療法に関連する疾患の知識およびその評価方法を習得する。疾患の病態生理を理解し、適切な理学療法評価を選択・実施できるようにすることを目的とする。内容は内部障害理学療法に関連する評価法の知識及び実施方法について講義を行う。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☐ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☐ PBL ☒ グループワーク ☐ その他（	☐ 反転授業 ☐ プレゼンテーション	☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク
学習上の助言		これまでの内科学・解剖学・生理学・運動学の知識も必要となるので復習してから授業に臨むこと。				
教科書		15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第3版 15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 内部障害理学療法学 循環・代謝 第2版 編：石川 朗 / 中山書店 / 2020				
参考書		病気がみえる vol.2 循環器 第4版/MEDIC MEDIA 病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝内分泌 第4版/MEDIC MEDIA 病気がみえる vol.4 呼吸器 第2版/MEDIC MEDIA				
外部教材						
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	内部障害疾患を呈する患者の理学療法評価に必要な基礎知識を説明できる。				PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
②	内部障害理学療法に関連する疾患についての評価を理解し、説明することができる。				PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
③	内部障害理学療法に必要な理学療法評価を選択することができる。				PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
④	理学療法評価から問題点を抽出・列挙ができる。				PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法		学習課題・学習時間（時間）	
1	内部障害理学療法学の総論について学ぶ。	[担当:元山]	講義	内部障害の疾患について内科学の復習を行う。	1	
2	呼吸器疾患の理学療法に必要な解剖学・生理学・運動学を学ぶ。	[担当:元山]	講義	呼吸器疾患の理学療法について教科書と授業プリントで再確認する。	4	
3	呼吸器疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当:元山]	講義/実技			
4	呼吸器疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当:元山]	講義/実技			
5	模擬症例を用いて呼吸器疾患患者の評価結果の解釈を学ぶ。	[担当:元山]	GW			
6	循環器疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当:甘利]	講義	循環器疾患の理学療法について教科書と授業プリントで確認する。	3	
7	循環器疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当:甘利]	講義/実技			
8	模擬症例を用いて循環器疾患患者の評価結果の解釈を学ぶ。	[担当:甘利]	GW			
9	腎不全・腎臓病の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当:大塚]	講義	腎不全・腎臓病の理学療法について教科書と授業プリントで確認する。	2	
10	腎不全・腎臓病の理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当:大塚]	講義/実技			
11	代謝性疾患の理学療法に必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当:甘利]	講義	代謝性疾患、腎不全・腎臓病の理学療法について教科書と授業プリントで再確認する。	2	
12	代謝性疾患の理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当:甘利]	講義/実技			
13	がんリハビリテーションに必要な疾患基礎知識を学ぶ。	[担当:甘利]	講義	教科書とこれまでの授業プリントを確認する。	2	
14	がんの理学療法評価とリスク管理について学ぶ。	[担当:甘利]	講義/実技			

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

15	内部障害理学療法学の総復習を行う。	[担当:元山]	講義	教科書とこれまでの授業プリントを確認する。	1
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	20	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	0	5
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する（筆記試験：80%）。試験では授業で使用したプリント、教科書の内容を基にした問題を出題し、理解度の確認を行う。	試験結果の開示 必要に応じて解答の開示と解説を行う			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	呼吸・循環の授業で取り扱った模擬症例に関してレポートを作成し評価を行う。なおレポート作成・提出はグループ単位で行う。	グループ毎に点数および講評についてフィードバックする			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		大塚 篤也 甘利 貴志					
教員の実務経験		総合病院で心疾患、呼吸器疾患、代謝疾患患者のリハビリテーションに従事。					
実践的授業の内容		講義を中心にグループワークを取り入れつつ内部障害を対象とした理学療法の基礎的知識及び評価の説明を行う。					
そ の 他		* 実技を実施する際は、動きやすい格好で参加すること。 * 全て対面授業で実施する予定である。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 今後のコロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラパスの変更がある可能性がある。					